

漢方の知恵と最先端バイオ

ミックマック

健康維持に欠かせないサプリメントだが、あまりに種類が多すぎて、本当に良いものが何なのか分からなくなる。そんなとき、やはり信頼できるのは、何千年もの歴史を経てきた揺るぎない漢方の力だ。最先端のバイオテクノロジーで、その“本物の力”を健康食品に込めたのが「ISOGreen北虫草」である。

Photo Satoru Seki Text Ichiko Minatoya

いつまでも若々しく、人生を生き生き楽しむために、食生活や運動に気を付け、足りない分をサプリメントで補つのは今や常識となっている。しかし洪水のようにあふれる健康情報に溺れ、本当に良いものを見つめるのが、逆に難しくもなっている。

中小企業などの上場支援を行うコンサルティングの茂木里江子氏も、健康作りにも迷える子羊の一人だった。ポジティブ思考で、仕事も遊びも思いつきりやるタイプ。交友関係も広く、飲み会に誘われたらイヤとは言わない強者だ。

「とはいえ翌朝が本当につらくて……」もう絶対にこういう風にならないぞ！とは思っていますが、夜になると忘れられるという(笑)。そんなとき「ISOGreen北虫草」を飲み始めたんです。ちょうど年末年始で忘年会と新年会が続いていましたが、ふと気づくと朝から調子が良く、全開で仕事できていたのに驚きました。

運動は週一回のジムくらいで、エステなどにもあまり熱心でなかったという茂木氏。最近変わったことといえば「ISOGreen北虫草」を飲むようになったことだけ。「これだ！」と実感したそう。

「暴飲暴食していたのに、友人からは『フェースラインがすっきりした』『スリムになった』と言われ、実際2kgほど体重が減っていたのにも驚きました。肌の調子も良く、一石二鳥どころか一石四鳥。おかげさまで得ています(笑)」

「ISOGreen北虫草」とは、漢

方薬の一種である冬虫夏草とほぼ同

じ栄養価を含むサプリメント。本来の冬虫夏草はコウモリ蛾の幼虫に寄生したキノコ類で、コルテイセリン、βグルカン、マンニトール、スーパーオキシドジスムターゼ、アミノ酸、たんぱく質の他、多くのビタミンとミネラル、セレンウムなど、健康な体作り

りに欠かせない貴重な成分を含んでいる。野生では動物由来の冬虫夏草だが、国を挙げてがんなどの免疫治療技術開発に取り組んでいる、漢方薬の本場として知られる台湾が、最先端バイオテクノロジーによって、無菌状態による純植物由来の冬虫夏草のバイオ培養に成功。「ISOGreen北虫草」はこの植物由来の冬虫夏草の中でも、最も強い生命力を持つ子実体と言われる部分だけを粉末化し、カプセルに詰めている。原材料名は「サナギタケ(冬虫夏草)子実体粉末」のみ。100%の含有率だ。細胞の生理活性研究を行う「ISOGreen」代表の劉享朗医師は、「細胞

の活性化を促し、組織の繊維化や老化の改善効果が期待できる」と太鼓判を押す。

「サプリメントは含有率が低かったり、品質が悪くなかったりすると、飲んでも結局ムダになる。これはしっかりしたデータが公開されているので安心です。自分が効果を実感しているのでもっと調子がいいのをお教え下さい」と友人には、どんどん教えています。

という茂木氏。「ISOGreen北虫草」で、パワフルな美しさにさらに磨きをかけている。



(右)100%純植物性のバイオ培養冬虫夏草の最も生命力の強い子実体だけを粉末化した「ISOGreen北虫草」。野生の冬虫夏草に比べ、成分はほとんど変わらず、品質の安定度が高い。純植物性100%北虫草子実体粉末。15,984円(350mg/120粒)。(上右)「ISOGreen北虫草」愛用者には年齢に左右されずバリバリ現役で働く人々が多い。元NECTーキン社長・会長を経て現在は経営革新コンサルタントとして、数々の企業を支える工学博士の羽田祐一氏もその一人。(上左)台湾有数の大病院で院長や医師として患者に接するだけでなく、細胞の生理活性研究に打ち込み、台湾の国策でもあるライフサイエンス分野をリードする医師の劉享朗氏。(下)昨年7月に台湾で行われたバイオテクノロジー産業国際協力協定式で、ミックマックはISOGreenと協定を締結。

